

橋梁建設工事における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17～18	土間プロペラを歩道部から車道部に2人で移動しようとした時に、ハンドル部分を持っていた被災者がバランスを崩して、鉄筋上に落下した。	80	—
6	8～9	事務所2階より階段を下りている時に足元が滑って、足首を捻ったまま一段落ち、左足踵を骨折した。	48	1～9
9	9～10	吊り足場の解体作業場所で、SKパネルを使用した吊り足場を三人一組で床面パネルを取り外す作業を行っていた。被災者は自分の安全帯のフックを前方の吊りチェーン金具から取り外し忘れていた事に気づき、手を伸ばして取り外したが、この時あわてていたため2丁掛けのもう一方のフックを後ろの吊りチェーン金具に掛ける事を忘れていた。中央の作業者は外したパネルを床面に引き入れる為に、被災者方向にパネルを押し向きを変えようとしたが、被災者の位置を確認していなかった為、被災者の腰に当たりバランスを崩して足場床面から（約3mの高さ）橋下の法面ブロック部に墜落した。	20	1～9
10	11～12	被災者はコンクリート打設足場の階段から下りようとした際、バランスを崩し階段から飛び降り、回転して寝そべるように橋面コンクリート上に転倒した。	68	10～29
10	16～17	吊り足場を撤去作業中、作業員同士が交差した際、安全帯のフックを外し吊り足場上から吊りチェーンを投げた時、体にチェーンが引っ掛かり転落した。	20	10～29

10	14 ～ 15	メタルロード工事を施工中、50tクローラクレーンでグウンザホールハンマとリーダーを吊り込み削孔位置にセットする際クレーン本体が転倒し約6m下に落下した。下部の削孔口付近にて作業中の被災者にクレーンが直撃し死亡した。詳細については現在調査中。	27	1 ～ 9
11	13 ～ 14	吊り足場解体作業中に、安全帯を掛け直す際、足場板を踏み外してしまい3m下へ落下した。	32	10 ～ 29
12	0~1	コンクリートの養生状況を1人で確認中に張出足場上の開口部から落下したものと推測される。墜落の原因としては、張出足場を覗きこんだ時に強風でシートが巻きあがり、つられて足場上に落ちたが、落ちた場所が開口部であったこと、また、高欄鉄筋をまたいで足場上に渡った場所が開口部であったことが考えられる。なお、夜の時間帯で周りは暗く、照明の陰になり足元が十分確認できない状況であった。	58	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html